

令和4年

目黒区教育委員会

第42回定例会会議録

(令和4年12月20日開催)

第42回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和4年12月20日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	谷合祐之
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校運営課長	香川知子
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	石邑由紀子
	統括指導主事	工藤邦彰
	生涯学習課長	高山和佳子
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		田 渕 明 美
		森 高 健二郎

(議事日程)

- | | | |
|------|--------|-------------------------------------|
| 日程第1 | 議案第43号 | 目黒区立幼稚園条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第2 | 議案第44号 | 目黒区立こども園条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第3 | 報告事項 | 令和4年度小・中学校卒業式祝辞について |
| 日程第4 | 報告事項 | 令和4年度目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会の懇談会の実施結果について |
| 日程第5 | 報告事項 | 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について |

資料配布

- ・新たな目黒区民センターの基本計画（素案の案）について
- ・向原小建替NEWS（v o l . 0 5）

(午前9時30分開会)

○教育長 令和4年第42回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、川嶋委員です。

それでは日程に入りますが、日程第1及び日程第2の2件は関連していますので、一括して議題とし、事務局からまとめて説明を受けます。

なお、質疑と採決については個別に行うこととします。

(日程第1 議案第43号 目黒区立幼稚園条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第2 議案第44号 目黒区立こども園条例の一部を改正する条例の立案請求について)

○学校運営課長 (資料により説明)

○教育長 まず日程第1について、ご質問等がありますか。

特にないようですので採決を行います。

本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第43号は原案どおり可決します。

次に日程第2について、ご質問等がありますか。

特にないようですので採決を行います。

本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第44号は原案どおり可決します。

次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和4年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 統括指導主事から説明がありましたが、改めてスケジュール

を確認しますと、今回と次回の2週にわたって主題及び題材の協議を進めまして、次回12月27日に小学校、中学校それぞれの題材を決めます。そして、決定した題材について、3回目と4回目で文案の協議を行い、5回目には文案を固めるというスケジュールで進めていきたいと思いますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、そのような予定で進めていきます。

本日は、小学校の題材が4例、中学校の題材が4例、全部で8つの題材が提案されています。各委員からご質問、ご意見をいただき、それを基に小学校、中学校それぞれ2つ程度に絞り込みたいと思います。

それでは、各委員からご質問、ご意見を順番にいただきます。

○委員

資料5ページに過去の卒業式の主題が掲載されていますが、平成30年度以降は、小学校と中学校でテーマの題材自体は共通で、年齢に応じて焦点の当て方を変えたつくりとなっていたと記憶しています。印象に残る祝辞とするのであれば、抽象的なことを話すより、1年の間に起きた大きな出来事を題材とするのがよいでしょう。そのような出来事が年にいくつもないため、過去4年間は同じ題材を用いていました。適切な題材があれば別々でよいのですが、小学校と中学校の題材を無理に分ける必要はないのではないかと思います。

具体的に言いますと、まず、2ページのサッカーワールドカップは最も話題性があり、印象に残っているものですので、題材として適していると考えます。今年度で最も印象に残る出来事で、特に小学校のテーマとしては適切です。

その場合に、文章構成として導入、展開、結びとありますが、展開の部分にもう少し全体的なことを入れるとよくなると思いました。ここでは、三苦選手がボールを拾い、田中碧選手がゴールに押し込んだという部分に焦点を当てていますが、ワールドカップのカタール大会はそれ以外にも様々な名場面がありましたので、より幅広く選手やチーム全体のことも取り上げた方がよいのではないかと考えます。

また、3ページの鉄道開業150周年という題材も周年に当

たる年ということによいのですが、新幹線の開発自体は昔話のようになる気がします。また、脱炭素社会の実現についても重要なテーマであり、特に中学生によいと思いますが、抽象的な話であり、今年度に限った話題ではないことが気になりました。

○委員

私は、小学校は（イ）「日本人メジャーリーガーの活躍」と（エ）「鉄道開業150周年 私たちの生活を豊かにした新幹線」がよいと思います。中学校は（ア）「サッカーワールドカップ カタール大会 PK戦」がよいと思い、他の題材については迷っています。

小学校の題材の鉄道については、他の委員も言われていたとおり、昔の話のように受け取られるおそれがありますが、鉄道に関するニュースはメディアでもよく取り上げられますし、文案を工夫して身近な話題を入れることができれば、よいものになるのではないかと考えます。

中学校の題材のサッカーワールドカップについては、夜遅くや朝早くに見ていた生徒もいますし、PK戦などは校内でも話題になったとのことですから、この題材でよいと思います。

また、個人的な関心になりますが、今年ヤクルトの村上選手が史上最年少で三冠王になり、ヤクルトファンとしてはこれに決したいという気持ちです。ただ、今年の成人のつどいで区長が村上選手の話題を取り上げていましたので、重複してしまうことが気になりますが、神宮球場は近く、実際にその目で見たことがある児童もいるでしょうから、よいと思います。

○委員

去年話題になった東京オリンピックなど、運動に関する題材は子どもたちが喜ぶと思いますので、サッカーワールドカップがよいと思いました。オリンピックと同じ4年に一度ですので、選手たちの活躍などを中心に文章を構成していただければと思います。

鉄道の題材は、少し古いという印象を受けました。

多くの子どもが好きなウォルト・ディズニーについては、ディズニーランドがどのような努力を経て現在の一大テーマパークに至ったのかを内容に加えるとよいのではないかと考えます。

中学校の題材では、サッカーワールドカップがよいですが、ノーベル賞を取った山中教授のiPS細胞についても素晴らしい題材だと思いますので、この発見に至った努力の過程を盛り込むととてもよい祝辞になるのではないかと考えます。

○委員

大変丁寧な資料をつくっていただきましたが、この1年間の出来事では、ロシアによるウクライナの侵略が私の中で非常に大きかったです。それを卒業の祝辞で直接述べるわけにはいきませんが、小学校を卒業する児童は12歳、中学校を卒業する生徒は15歳で、後20年すればもう社会の中堅となります。民主主義の根幹である少数意見や他者を尊重する人となってほしい旨を主題に入れていただけたら嬉しいです。

題材については、サッカーワールドカップは素晴らしいテーマですが、卒業式が3月ですので、少し時期が空いてしまう印象を受けました。

また、ウォルト・ディズニーはテーマパークの走りであり、行けば楽しいですが、これからの日本を背負っていく子どもたちの一つの区切りの祝辞としては、もう少し未来を創造していくことに触れる内容がよいと思いました。

中学校でいえば、脱炭素社会やiPS細胞は重要な題材になり得ると思います。脱炭素社会の取組については、今ロシアのウクライナ侵攻の影響により、エネルギー危機が生じており、火力発電などが見直されていますが、一方では、海面の上昇など人類にとって危機的な状況を招くこととなります。そのような中で、将来勇気を持って取り組む大人に成長してほしいという趣旨であれば、脱炭素は素晴らしいテーマになると考えます。

また、他の委員が述べていましたが、iPS細胞の発見は重要なものですが、その発見も失敗を恐れない山中先生の努力があったからこそだと思います。日本の子どもたちは、失敗を恐れ、他者からの評価を気にし、発言を控えたり、自分から行動を起こさないことが見受けられます。私は、一度イギリスの高校で教鞭を取ったことがあります。あちらでは質問をすると高校生が積極的に手を挙げます。発言を求めると的を得ない答えが返ってくることもありますが、本人は自分の意見に自信を持って発言する。世界の中でそのような人たちと対等に渡り合っていくためには失敗を恐れない勇気や新しいことにチャレンジする勇気を持つことが重要だと考えますので、そのような趣旨を述べるため、iPS細胞を題材とすることもよいと思いました。

大谷選手は、個人的に大好きですが、大谷選手を題材に取り上げるのであれば、高校時代や中学時代に自分の将来を設計し

ていたでしょうから、目標に向かって着々と自己努力を重ねてきたというエピソードに焦点を当てるとよいと思いました。

○教育長

4人の委員にご意見をいただきましたが、さらに付け加えたいご意見などありますか。

今年も例年どおり、1回目は各委員から多様なご意見をいただき、冒頭申し上げたとおり、小学校、中学校それぞれ2つ程度に題材を絞り込みたいと思います。

まず、先ほど委員から題材ではなく、主題の話がありました。子どもたちには他者や多様な価値観を尊重する人になってほしい旨の話がありましたが、これについては他者との協働や、一緒に課題を見出す力といった主題設定の背景で他者との関わりについて触れていますので、その中に含めるといってご理解いただきたいと思います。

次に題材についてですが、小学校、中学校ともに同じ題材でよいのではないかという話が委員からありました。各委員の話を伺ったところ、小学校、中学校ともに1つにはサッカーワールドカップとし、小学校のもう1つの題材は鉄道、中学校の題材は脱炭素という印象を受けたのですが、いかがでしょうか。

できれば、これを基に意見があれば追加したいと考えています。今日の絞り込みは3つにしたほうがよいのではないかなど、様々な意見があると思いますので、何か付け加えたい意見があればお願いします。

○委員

教育長が挙げられた小学校、中学校それぞれ2つのテーマについては、私も先ほど意見を述べたものですので、それぞれその2つでよいです。

中学校の題材の脱炭素社会の実現については、これから高校、大学、社会に向けて卒業していく生徒にふさわしいとは思いますが、焦点をどこに当てるか、どのような導入とするのか整理が必要です。

○委員

特に新しい意見はありません。皆様の意見を聴き、1週間考えたいと思います。

○委員

鉄道の題材は素晴らしいテーマだと思います。日本の鉄道はイギリスから導入し、作り上げたもので、時間どおりの運行、事故も少ないため、世界に誇れるものです。日本人の努力の象徴でもあります。自分の国の素晴らしさを伝え、それを引き継いでもらいたい趣旨にするのもよいと考えます。

脱炭素の題材は、昨年も見かけた記憶がありますが、デンマークの少女が世界に訴えかけたシーンが印象的でしたので、もし取り上げるのであれば、子どもたちにもその少女のように自身の意見を堂々と述べられるよう成長してほしい趣旨にするのがよいと思います。

○委員

特にありません。

○教育長

補足しますと、脱炭素については区長部局でカーボンニュートラルの達成に取り組む旨を改めて表明した、節目の年度に当たることをつけ加えておきます。

では、委員の皆様に向いましたところ、題材候補としては、小学校向けは（ア）「サッカーワールドカップ カタール大会 日本代表の活躍」と（エ）「鉄道開業150周年 私たちの生活を豊かにした新幹線」の2点、中学校向けは（ア）「サッカーワールドカップ カタール大会 PK戦」と（イ）「脱炭素社会の実現に向けて」の2点が挙がりました。これを基に、次回、小学校、中学校の題材をそれぞれ1つずつに絞りたいと思います。

では、以上でこの報告を受けたこととします。

次に日程第4を議題とします。

（日程第4 令和4年度目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会の懇談会の実施結果について（報告事項））

○教育支援課長 （資料により説明）

○教育長

事務局の説明を補足します。冒頭、事務局から、目黒区手をつなぐ親の会は東京都手をつなぐ親の会の支部組織である旨の説明がありました。現在、組織としてはそのような形になってはいますが、経緯を説明しますと、都内の各区市町村単位で順次この活動が始まり、その後それらを取りまとめる組織として東京都手をつなぐ親の会が発足したという次第です。

○教育長

この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

（日程第5 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について（報告事項））

○学校運営課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

〔 資料配布
・新たな目黒区民センターの基本計画(素案の案)について
・向原小建替NEWS (v o l . 0 5) 〕

○教育長 その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時35分閉会)